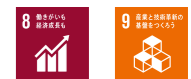


ワークスタイル 変革

JALの

JALの「ワークスタイル変革」とは
2015年度に「ワークスタイル変革推進室」を
設置。社員自身の時間を充実させることで得ら
れる経験を、新たな価値の創造に生かします。



「ワーケーション」で 新たな活力を生み出す

すでに欧米のIT企業を中心に普
及が進みつつある「ワーケーション」。
JALでは、休暇を満喫しながら一
時的に業務ができるこの取り組みを
2017年7月8月のトライアルを
経て導入しました。すでに実施して
いるテレワークなどの柔軟な働き方
とともに、さらなる休暇の取得促進
を目指しています。休暇中のやむを
得ない業務にも、滞在地からテレビ
会議などを利用して対応できること
から、今まで長期休暇の取得を踏み
とどまっていた社員に向けた、休暇
取得のセーフティネットとして利用

が期待されています。

「ワーケーション」の使い方はさま
ざまです。観光地でリフレッシュし
たまま業務にあたることのできる、
以前より期間の長い休暇の計画が立
てられる、地域の方々との交流など、
自身の成長と業務への新たな活力と
なることへも期待が高まります。

また、「ワーケーション」を普
及させるため、2017年12月と
2018年1月に社員向けの体験ツ
アーも開催しています(下写真参考)。
「ワーケーション」は、新たなワー
クスタイルを実現する手段として将
来性が期待されています。今後、社
員に対して「ワーケーション」をさら
に浸透させるため各地の施設や観光
地を紹介する冊子なども配布してい
く予定です。

JALの年次有給休暇取得率



「ワーケーション」 in 南紀白浜 Work & Vacation

「ワーケーション」の体験ツアー
現地からの体験レポート
に参加した社員が、
をお届けします。

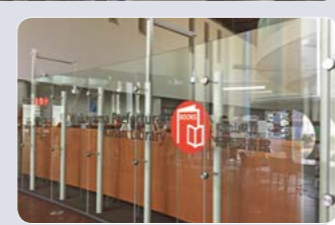
1日目	2日目
8時：南紀白浜空港到着 13 - 17時：仕事	出発まで観光 18時：南紀白浜空港出発

現地の貸しオフィスで打ち合わせ



モニターに映る上の服
だけ仕事着に着替え、
TV会議に参加します。

現地のワークスペースに
て打ち合わせ。外せない
会議にも周囲を気にせず
参加できます。



牛込真由子
JALバック



熊野古道の道普請に参加



ツアーのプログラムで熊野古道を清掃。澄んだ
空気に包まれ身も心もリフレッシュできます。



心置きなく地元のごちそうを
いただきます！ここでしか食べ
られない海の幸に舌鼓！



「ワーケーション」が生み出す、
プラスアルファの価値。
近年、海外でも注目を集めている働き方、「ワーケーション」。
「ワーク」と「バケーション」を合わせた造語で、
希望すれば休暇先からも仕事ができる制度です。
JALでもこの新しい働き方を導入。社員の柔軟な働き方をサポートしています。

外せない会議があっても 長期休暇をあきらめない



旅客販売統括本部
グループ長
野沢 久

長期休暇を取ろうにも外せない会
議があったりすると取得を躊躇する
こともあります。その解決策となる
「ワーケーション」に興味を持ち、体
験ツアーに参加しました。
休暇に仕事を持ち込むという発想で
はなく、仕事と休みの時間をあらかじめ
決めておくことで仕事は短時間に
集中して行い、休暇の部分は心から
楽しむことができます。
今後は「ワーケーション」も活用しな
がら長期休暇を取得し、部下の休暇
取得も促進していきます。

「ワーケーション」人口を増やし、地域をもっと活性化させたい

和歌山県では全国に先駆けて「ワーケ
ーション」を推進し、初年度である2017年
度には、20社240名に「ワーケーション」
を体験していただきました。
「ワーケーション」受入に必要なのは①海、
山、食事、地元の魅力的な人・企業等

の各地域の独自のコンテンツと②航空路
等の交通アクセスやWi-Fi接続等のハー
ドです。多種多様な地域が「ワーケーシ
ョン」先となることで、「ワーケーション」人
口が増え、和歌山県のみならず各地域の
活性化にもつながると期待しています。



和歌山県 企画部
天野 宏さま

